

会 議 録

会 議 名 (審 議 会 等 名)		平成19年度 第1回 川西市青少年センター運営委員会	
事 務 局 (担 当 課)		教育振興部 青少年センター 内線(4500)	
開 催 日 時		平成19年 7月18日(水) 10:00~11:20	
開 催 場 所		川西市役所 庁議室	
出 席 者	委 員	村木 修、安田忠司、十河眞由美、森田文英、松尾幸恵、秋田修一、洪野敏彦、長船幸夫、佐伯直樹、稲垣 明、牛尾 巧	
	事務局	松岡寛一、平野圭祐、溝上好弘、上中敏昭	
傍聴の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部可	傍聴者数
傍聴の不可・一部不可の場合は、その理由		0人	
会議次第		開会 1・運営委員の委嘱について 2・会長あいさつ 3・協議事項 (1)平成19年度 川西市青少年センター事業 (2)平成19年度 夏季特別補導強化期間実施要領 閉会	
会議結果		協議事項は(案)どおり了承	

1、運営委員の委嘱

運営委員会の冒頭に今年度新しく運営委員になられた方の委嘱状を青少年センター運営委員会会長の村木 修教育長から交付された。なお任期は平成20年3月31日までである。

2、会長あいさつ

日頃より学校や関係機関等に支えて頂いている事に感謝を申しあげる。青少年の現状は、不良行為が増えており警察に係わって頂いている。このような事から子どもの状況が良くなっていないように感じる。青少年の健やかな成長を願ういろいろな観点から忌憚のないご意見を出して頂きたい。

今年度も青少年センターの運営に宜しくお願い申し上げます。

3、自己紹介

自己紹介後、資料の確認。

4、協議事項(1)

<事務局説明>

(1)平成19年度 川西市青少年センター事業について

質疑応答

(事務局)

6月から教育情報センター・青少年センターがふれあいプラザからパルティK2北ハイツに移転をした事の報告。リーフレットをご覧頂きたい。

(会長)

協議事項(1)報告をしたが、小中高校で補足があれば伺いたい。

(委員)

現状報告の通り、厳しい状況の中、多くの子ども達は苦しんでいる。学校だけでは対応できない事があり、日々の青少年センターの活動に感謝している。

(委員)

今年から川西市へ異動してきたが、以前は伊丹学区の高校に7年間程勤務していた。平成10年、11年に県立猪名川高校に勤務していた時、清和台地区、けやき坂地区の懇談会に参加した。その時に補導マップをもらい地域の状況が分かって良かった。今年、補導委員の定例会に参加したが、補導マップの様なものは作られていなくて、昨年度作られた小学校単位の安全マップをもらったが、性格が異なるように思った。以前頂いた補導マップの意義がとても大きいものであり、様々な活動をする上で役立ったので、是非もう一度考えてほしい。

(委員)

3年～4年前に、補導マップを手がけたが、いろいろと問題があった。安全マップとの共同をお願いしたこともあった。安全マップは、学校によって違いがあると思う。

(会長)

今後の方向として働きかけも考えてほしい。

審 議 経 過

No. 2

(委員)

安全マップは、各小学校にあるのか。

(委員)

昨年度、市教委が配布した。市内の全小学校の児童と関係者は持っている。

(委員)

センター運営委員会の委員に、全部配ってはどうか。

(会長)

できるのであれば、配ってはどうか。

(委員)

補導委員さんが地域を巡回し、危険箇所などを確認している。学校のPTA愛護部も同様のことをしている。内容も重なるので別々に作るのではなく、連携して作るようにしたらどうか。また補導委員の巡回中に「こどもをまもる110番のおうち」を訪問する等をしたらよいと思う。

(会長)

その他にご意見はないか。

(委員)

補導マップを見て巡回したことがある。溜池が無くなる等、変わっている場所があるので、マップの古さを感じた。また、補導委員さんの活動範囲が広いので、補導委員さんの中には地域の状況がわかっていない方が居る。例えば有害図書を販売している店の名前や入居しているビルの名前等。地域の方で、状況を知っておられる方をお願いしたら良いと思う。

(事務局)

補導委員の選出については、地域推薦と学校推薦で120名を選出しているが、希望にそうようにするには難しいものがある。

(会長)

安全マップは、どこが所管しているのか。

(事務局)

市教委の学校教育室が所管している。

(委員)

以前いた学校では、安全マップは、2年前に作った。細かな事を出し合い、補導委員さんにも聞いた。状況が変わったら、PTA愛護部で書き込みをする作業を行い、昨年度に配布した。年次ごとに代えるのは難しいが、3年程で見直しを行う要望が出ている。当校では学校安全協力員にも安全マップは渡している。

(委員)

「こどもをまもる110番のおうち」の変更も校長会を通じて依頼している。

(会長)

安全マップ、補導マップを全部集めて、一度緊急に整理をしたほうが良い。青少年センターで、コミュニティや自治会などの意見を聞いて収集作業を行い、次回までにチェックをしてもらいたい。次回の青少年センター運営委員会はいつ。

(事務局)

次回は11月末を予定している。安全マップを揃えて意見を聞くようにする。

(委員)

昨年作った安全マップは民生委員、保護司、社会教育委員、議会等には配っていないので、学校教育と検討する。

(委員)

安全マップを拝見した。保護者向けの様に見えるので、小学生用のマップを検討して配布してほしい。

(委員)

親子が会話をし、子どもの意見を取り入れ書き込み作業をしてもらい作成をしている。

(委員)

親子の作業がないとマップは死に体になる。

(会長)

子どもの目と取り組みには、学校で差があるようである。

(委員)

全て網羅したマップになっているが、次第に風化した場所がある。それでも良いかどうか考える。阪神間の学校でも、「こどもをまもる110番のおうち」を地図に入れているが、実際に機能しない「こどもをまもる110番のおうち」があり問題になっている。

(会長)

この件についての資料は、青少年センターで収集して次回には提供してもらえらと思う。

その他の事業についてご意見を伺いたい。

(委員)

地域で子どもに関する会議に参加した。有害図書の扱いは条例で決まっているので、店はきちっと行っている。しかし、青少年にとって過激な少女コミック本が、一般図書と同じ所に陳列されているので、自由に見られる。新書はビニールのカバーをされているが、古書はされていない。月刊誌などは、かなりいかがわしい内容である。コミック本はカバーされているが、買った後で親にわからない形で子どもが見ることができる。この様な状況があるので対策を検討している。法的に規制はできないが、地域や団体が連名で店舗に対して自粛のお願いをしたい。実態を見てもらう必要があるが、協力を頂きたい。

(委員)

青色回転灯パトロールの件で、議会でもお願いをした。地域、自治会、コミュニティ、防犯協会の協力を頂いている。多田グリーンハイツ、清和台では有効活用をしている。車両に青色回転灯装備を行うには、法人格を持たないといけないとなっているが、今後、法人格を持たなくても警察、市で協議すれば取得が可能になった。大和地区も8月に2台申請するように検討している。10月か11月には配備ができ、取り組んでいく予定である。

全市的なPRを行い取り組んでいきたい。

(会長)

図書の件についての調査はどうなるのか。

(事務局)

環境実態調査を補導委員さんの協力の下で7月8月と11月12月に実施して

いる。必要に応じて県民局へ報告をし、有害実態があれば指導をしてもらっている。調査と今後の対応については、県民局との連携を行う。

(委員)

学校教育室が学校安全協力員をスタートした。様々な問題に取り組みながら現在がある。活動の内容からみて、青少年センターへの移管を考えてはどうか。

(会長)

連携と言うことで協議してはと思う。

(事務局)

学校安全協力員は、学校との繋がりの中で、子どもの安全面に取り組んでいる。青少年センターの活動範囲は、地域の面が含まれている。学校とは違った側面があるのでご理解頂きたい。

(会長)

青色回転灯の件や学校安全協力員の件について次回報告を頂きたい。

協議事項(2)

<事務局説明>

(2)平成19年度 夏季特別補導強化期間実施要領

質疑応答

(会長)

補導委員の皆様にはお世話になりますが宜しくお願いします。ご意見をお願いします。

(会長)

事務局からのお願い事などあれば伺いたい。

(事務局)

委員の方々にはご支援を頂き有り難うございます。今後とも宜しくお願いします。

(委員)

警察からの情報を聞きたいので出席をお願いしたい。

(会長)

貴重な意見を頂き有り難うございます。今後の青少年センター運営に活かして行きたい。今回の報告を次回お願いしたい。丁寧な事務局の報告をお願いしたい。

閉会